2026年11月13日

各　位

会 社 名　株式会社進学会ホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役　　平井　将浩
（コード番号 9760 東証スタンダード）
問合せ先　取締役管理部長　　竹山　正輝
（TEL 011-863-5557）

株式評価損の計上および
第２四半期業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 5 月 15 日に公表した 2027 年 3 月期第２四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 15 日に公表いたしました 2027 年 3 月期通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．株式評価損の計上について

当社が保有する投資有価証券の一部について、2026 年 9 月末時点で実質価額を評価した結果、帳簿価額と比較して大幅に下落したため、2027 年 3 月期第２四半期連結会計期間において特別損失（投資有価証券評価損）20 百万円を計上いたします。

２．2027 年 3 月期第２四半期(累計)連結業績予想と実績値の差

（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）　〔単位百万円〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	一株当たり中間純利益（円　銭）
前回発表予想（A）	2,300	△450	△430	△470	△27.52
今回実績値　（B）	3,202	△1,675	△1,669	△751	△45.11
増 減 額（B－A）	902	△1,225	△1,239	△281	
増 減 率（　％　）	39.2	―	―	―	
（参考）前期第２四半期実績（2026 年 3 月期中間期）	3,397	△607	△633	△771	△44.31

３．2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

〔単位百万円〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益（円　銭）
前回発表予想（A）	5,100	50	70	30	1.76
今回修正予想（B）	5,700	△1,700	△1,650	△800	△48.05
増 減 額（B－A）	600	△1,750	△1,720	△830	
増 減 率（　％　）	11.76	―	―	―	
(参考)前通期実績（2026 年 3 月期）	6,705	△1,526	△1,562	△1,798	△105.33

４．差異が生じた理由および修正の理由

① 第２四半期業績予想に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・不動産事業）におきましては、教育事業での新学期生徒数を鑑みて第 2 四半期連結累計期間において、売上高 1,150 百万円、営業利益△200 百万円、経常利益△130 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△170 百万円として半期の計画を立てておりました。

・投資部門におきまして、第２四半期連結累計期間に売上高 1,150 百万円、営業利益△250 百万円、経常利益△300 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△300 百万円として計画をしておりました。

上記 2 つを合算し、2027 年 3 月期 第２四半期業績予想を売上高 2,300 百万円、営業利益△450 百万円、経常利益△430 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△470 百万円といたしました。

② 差異が生じた理由

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・不動産事業）におきまして、第２四半期連結累計期間の売上高が 1,167 百万円とほぼ計画どおりとなりました。利益につきましては、一昨年度より進めていた学習塾の会場統廃合による経費削減効果により、営業利益△80 百万円、経常利益△57 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△64 百万円となり、計画を上回りました。

・投資部門におきまして、第２四半期連結累計期間の売上高が 2,034 百万円と計画の 1,150 百万円を 884 百万円上回りました。また、利益に関しては、10 月 2 日に開示した「連結子会社の保有する有価証券の評価損発生に関するお知らせ」のとおり、当社子会社 SG 総研において、AI 半導体関連株の急激な調整もあり、第２四半期までの累計で△1,591 百万円の有価証券評価損を計上いたしました。結果、投資部門の営業利益△1,594 百万円、経常利益△1,611 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△686 百万円と計画を下回るものとなりました。なお、9 月 29 日付の「連結子会社の債務免除等の金融支援及び特別利益発生に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、SG 総研は当社筆頭株主である有限会社平井興産か

ら金融債務の一部免除を受けており、特別利益として 1,000 百万円を計上しております。

上記 2 つを合算し、2027 年 3 月期第２四半期連結累計期間の売上高 3,202 百万円、営業利益△1,675 百万円、経常利益△1,669 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益△751 百万円となりました。

③ 通期業績予想修正に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・不動産事業）におきましては、教育事業において在籍者数の回復が進んだことで売上が改善傾向へ転じており、不採算会場等の統廃合による経費の圧縮と採算性の向上に伴い、利益についても改善を見込んでおります。不動産事業に関しては、11 月 6 日に開示した「販売用不動産の売却に関するお知らせ」のとおり、2027 年 3 月期第３四半期連結会計期間において 1 棟（売却価格 410 百万円）を売却予定であり、所有する土地建物の売却による通期売上高 620 百万円を見込んでおります。これらのことから、通期で売上高 3,200 百万円、営業利益は 30 百万円を見込んでおります。

・投資部門におきまして、通期売上高 2,500 百万円を計画しております。また営業利益に関しましては上期で△1,594 百万円となりましたが、通期での営業利益については下期の営業利益を想定し△1,730 百万円を見込んでおります。

上記 2 つを合算し、2027 年 3 月期通期業績予想は売上高 5,700 百万円、営業利益△1,700 百万円、経常利益△1,650 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△800 百万円となっております。

※上記に記載した業績予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。